

## 兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	[倫理審査受付番号：第 4351 号] 新生児集中治療室/新生児回復室におけるパルスキセノン紫外線消毒を含む環境消毒によるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌院内伝播制御の有用性
研究責任者氏名	兵庫医科大学 感染制御学 中嶋 一彦
研究機関長名	兵庫医科大学長 野口 光一
研究期間	2023 年 3 月 20 日～2025 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	下記の期間に兵庫医科大学病院の NICU/GCU に入院した方
	受診日：西暦 2020 年 7 月 1 日～ 2022 年 6 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他 ( )
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他 ( )
研究目的・意義	<p>メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) は医療関連感染の代表的な起因菌で、薬剤耐性菌の中で最も高い分離率を示します。新生児集中治療室 (NICU) および新生児回復治療室 (GCU) における MRSA 検出数は減少傾向ですが、新生児感染症の起因菌としてコアグラエゼ陰性ブドウ球菌に次いで多く、院内感染拡大に努める必要があります。特に、NICU/GCU に入室する新生児は未熟な免疫能に加え、常在細菌叢が形成されておらず、加えて母体からの移行免疫が少ないため注意が必要です。</p> <p>近年、手動による清掃だけでなくパルスキセノン紫外線を用いた消毒を加えることにより、環境および患者が獲得する MRSA 減少が報告されていますが、NICU/GUC においては有用性については報告が少ないのが現状です。当院では実施した NICU/GCU での消毒にパルスキセノン紫外線を用いた消毒を用いることで MRSA の検出率が減少傾向にあります。</p> <p>当院で実施した NICU での環境清掃および消毒がもたらした影響について評価します。環境清掃および消毒が MRSA の伝播抑制に有用であることが明らかになれば、日本全国の NICU/GCU での MRSA の伝播対策に貢献できるも</p>

	のと考えます。
研究の方法	<p>2020年7月1日～2022年6月30日の期間、NICU/GCUに入院した方が対象となります。MRSA検出数、MRSA発生率、手指消毒回数、手指衛生遵守率、病床稼働率を調査します。お母様とのMRSA遺伝子パターン一致例を除き、NICU/GCU入室後48時間以上経過して検出されたMRSA患者様を検出群数とします。</p> <p>また、MRSAの遺伝子パターンの一致率を評価しますが、患者様個々の個人情報の収集は行いません。</p>
個人情報の取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
本研究に関する連絡先	<p>兵庫医科大学病院 感染制御部 石川 かおり</p> <p>連絡先：（平日8時30分～16時45分）0798 - 45 - 6689</p> <p>（上記時間以外）0798 - 45 - 6111</p>